

わが友 わが学び舎 東海の同窓会

東海地方の進学校として名高い滝学園滝中学・滝高校は、織田問屋滝兵(現タキヒヨ)の5代目として明治中期から昭和初期に活躍した滝信四郎氏が、1926年に故郷の愛知県江南市に「滝実業学校」(商業部・農業部)を創設したことに始まる。47年に滝中学校を併設、翌年には学制改革により「滝実業高等学校」となる。

滝高校

神は、校訓にそのまま生かされている。現役生の合格率は高く、確かな教育姿勢が行く「報恩感謝」を掲げている。また、勉学一筋ではなく、進学校として中学から高運動部・文化部双方のクラブ活動も盛ん。「楽しかった」という卒業後の学園の思い出になっている。学園キニラムで大学入試に対応している。今年度の卒業生は344人。入試では国公立大学210人、私立大学722人の計932人(現指している。その結果、卒業生は企業経営者、政治家、

「土曜講座」で学生の育成支援

将来大いに活躍する青少年を育てることこそが、故郷への最大の恩返しになると考えた滝氏の創立者精神

医学博士、天文学者、作家、スポーツ選手など多分野で活躍している。同窓会の同窓会総会・懇親会の運営方法が変わっていき、「土曜講座」で学生の育成支援



来年度の同窓会総会・懇親会の運営を担当する幹事

名古屋場所観戦に100人招待

現在の同窓会会員数は約3万人。支部は東京、関西、中部の3支部に加え、今春にロンドン支部が結成された。朱宮新治同窓会長は「将来的には米国、ヨーロッパ全域、中近東、アフリカ」までネットワークを広げたいと語る。同窓会は活発に活動しているが、長い歴史の中で停滞期もあった。その中興の祖となったのが、同窓会名誉会長の社長本宮明福玉精穀倉代表取締役会長である。「滝が好きな自分の母校に愛と誇りを掲げてサポートし、現在の同窓会の姿が出来上がった」といふ。



気品ある滝学園の本館校舎

■連絡先 滝学園滝高校同窓会 = 江南市東野町米野1、電話0587・56・2127



同窓会長

滝学園で再来年には創立90周年を迎える伝統校。「質実剛健、勤勉力行、報恩感謝」の校訓のもと、勉学に部活に共に動んだ同窓生の皆さんは、多くの楽しい思い出を持っていること

■朱宮新治会長(1964年・普通科卒) 扶桑石油代表取締役

卓郎氏を迎えている。その他、母校への寄付も積極的。昨年からは同窓会員の協力を得て「大相撲名古屋場所観戦」に希望者1000人を招待している。「日本の伝統文化を深く理解してもらおう」ことを意図にした企画で好評を得ている。また、再来年に滝学園創立90周年を迎えるにあたり、学内では「滝NEXT10」委員会が立ち上げられた。次の100周年に向けて未来像と道筋を模索中であり、同窓会も意見を提出するために検討を重ねている。



今春に結成された「ロンドン支部」の会員